

WHAT MATTER?

祇園ミュージアム・スクエア〈北座〉オープン!?

こんな記事がClub Famelに載るのもそう遠い話ではない。
そんな気だけはするのだけれど……。

道楽橋というのをわかる人はおられるだろうか。商工会議所の発案した三条大橋、四條大橋間にもうひとつ橋を作ろうという、まだ存在しない存在しないかも知れない橋の名前だ。このように、商工会議所がいろんなプランを発案していることは、意外と知られていない事実である。それが京都を活性化するためのオビニオンリーダーかどうかの能書きはさておき、こういった遊び心タツプリの忌憚のない意見の集まることから実際面白いムーヴメントが起ることは間違いないだろう。

でも、その忌憚のない云々が集まるはずの場所が広く一般的でないというのも事実である。広く市民の心を掴む説得力を期待したい。

ところで、その商工会議所案の中に「北座」いうのがある。南座に対して、現在市営駐車場として機能している公有地に若者向けのアンテナビルを建ててはどうかという企画。着想は現実的であると思うが、これもいささか説得力に欠ける。それは、ニーズが先にないせいであると思われる。利用する予定の層から声が聞こえてこないことには実現できないだろう。だって、多目的ホールなんてもう要らないし、若い人間が欲しがっているのは「機能している場所」なのであるから。扇町ミュージアム・スクエアならぬ、祇園ミュージアム・スクエア〈北座〉だったらワカルンダケド……。

●お詫び
本誌6月号30P広告「フライング・ユガー・クラブ・ファースト・パティ」に於いて、協賛店に「ランビー・グレイビー」「ジハラス」・「オフ・ザ・ウォール」が抜けておりました。関係者の方々に大変ご迷惑がかりました。関係者の方々に大変ご迷惑がかりました。お詫び申し上げます。

「洗濯屋ケンちゃん」 と聞いてニヤツとしないよね。

ナント!! 利用客の大半は主婦と言うじゃありませんか。世の中も変わったものですね。で、次にくるのがOL、単身赴任者、大学生なんですって。これ何のことか分かります?

「水洗いランドリー宅配便」と言いまして、要するに、代わりに洗濯してくれるというありがたい商売なのです。そのシステムは、

①まず電話すると、ランドリーパック(4〜5kg入る)を持ってきてくれる。

②タオルなら40枚は軽く入るその紙袋に1〜2週間の洗濯物を詰める。

③いっぱいになると電話して取りに来してもらう。

④あとは、日時、場所を指定しておけば、いつでもどこでもナイロン袋にきれいに畳まれた洗濯物を手にできる。

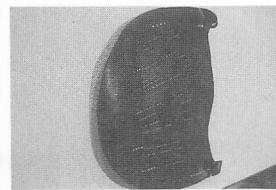
とまあこんな具合だから、日頃洗いにくいシーツだとか、雨続きの洗濯に困りの主婦、寝る暇もないキャリアアウーマン、不精サラーマンに絶賛を浴びているわけです。単なる手間省きと云うより、皆さん事情が事情なものですから、「お忙しくて大変ですね」と言えない。ここにも、金はあっても暇はなし症候群を垣間見してしまうお話であります。イヤイヤ。

●「洗濯屋ケンちゃん」
075-712-8787
11AM〜7PM
ランドリーパック1個¥1,500



人に対する姿勢。

柔らかい、温かい、といった感触が待っている時間を和ませてくれる。
そんな空間創りが集う場所となっていくのです。

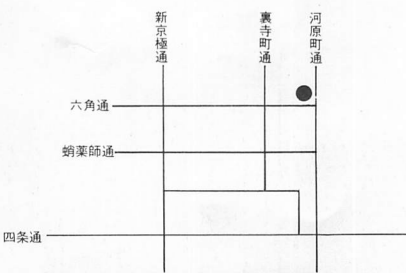


「かぐや姫」の基本姿勢は、人間と人間のつながりを大事にする、ということ。それは、スタッフはもちろんのこと。店内の内装に於いても表れています。竹の子を干したままのオブジェ、人が歩く姿を表している入り口の鉄細工、マンボウの形をしたメニューなど、有機的なオブジェで店の雰囲気造りに努めています。

ふれあい、というものを大事にするならば、店のフブジェに拘るのも当然のことです。スタッフがいくら努力しても、店内に冷たい空気が流れていては、お客様も落ちついた美容はできません。店とスタッフが一体となって、お客様に何か温かいものを感じ取って頂いた時に、「かぐや姫にして、よかったです。」と言って頂けると考えているからです。

かぐや姫 河原町店

京都市中京区河原町通三条下ル大黒町58京宝ビル4F
phone.075-255-1167



「かぐや姫」河原町店
トータルコーディネーター 畑 耕一
アートオブジェ・デザイン 大本哲司